

「医療現場・医療機器企業・モノづくり企業3者連携による機器開発」
～モノづくり企業のための医療機器産業参入のポイント～

(一社) 日本医工ものづくりコモンズ 専務理事 柏野 聡彦 氏
東京都医工連携HUB機構 プロジェクトマネージャー

東大阪市では、市内企業の高い技術力やネットワークを活かし、健康・医療・介護分野への参入を促進するため、医工連携事業を進めています。同分野への参入の形態として、いくつかパターンがありますが、市ではとりわけ「部品・部材の供給」「試作・設計・開発支援」「OEM/ODM生産」を重点領域とし、医療機器企業をメインターゲットに取り組みを進めております。

今回は新たな医工連携のカタチとして注目される『製販ドリブンモデル』の提唱者柏野聡彦氏をお招きします。「製販ドリブンモデル」とは、モノづくり企業様にとって高い障壁となっている「複雑な法規制」や「独特な商習慣」「販路開拓の困難性」といった面を、医療機器製販企業と連携を図ることよりスムーズな参入を目指すモデルであり、その実際やポイントなどを分かりやすく解説いただきます。

医療機器市場のことを勉強したい企業様や医療機器ビジネスへの参入を目指す企業様はもちろん、医療機器企業との販路拡大を目指す企業様など、是非ご参加ください。

日時: 7月12日(木) 16:00～18:00 (終了後、名刺交換会あり)
※終了時間については変更の可能性あり
場所: クリエイション・コア東大阪 南館3階 技術交流室
(東大阪市荒本北1-4-1 東大阪市役所西隣り)

【講演内容のポイント】

- ・スムーズな医工連携「製販ドリブンモデル」とは
- ・医療機器産業への参入のポイント
- ・医療機器企業との商談のポイント、アプローチ方法
- ・医療機器企業と連携するメリット、得られる資源
- ・医工連携の今後～医工連携の活性化サイクルによるモノづくり企業の参入機会の増加～ など

【定員】50名

【参加費】無料

【対象者】医療機器・医工連携に関心のあるモノづくり企業、医療機器企業、医療者、支援機関など

【申込方法】下記記載の上、FAX(06-4309-3846)にてお申し込みください。

会社名		TEL	
氏名		mail	

※定員がいっぱいなどご参加いただけない場合のみ、こちらからご連絡いたします。

主催: 東大阪市医工連携研究会・東大阪市

共催: (地独) 大阪産業技術研究所 (医療健康機器開発研究会)

東大阪市経済部モノづくり支援室

TEL: 06-4309-3177 FAX: 06-4309-3846 mail: monodukuri@city.higashiosaka.lg.jp